

# プール問題はどれくらい出題されている？

国家試験の質・難易度を一定に保つために、平成16年から導入されたのが試験問題のプール制です。プール制とは、あらかじめストックした問題をそのまま、もしくは改変して繰り返し出題する方法のことで、本ページでは、今回の国家試験でプール制による、つまり過去の問題と類似したものがどの程度あったか検証しました。

(各数値は、第93回～107回の問題で集計したものです)

## プール制による出題は「約4問に1問」

前提として、プール制の出題形式を以下の2種類に分けて考えます。

- ①問題文・選択肢を含めて、ほぼ同じ内容 (例を本ページ下部に掲載)
- ②問題文や選択肢は異なるが、問われているのはほぼ同じ内容 (例を次ページ上部に掲載)

上記の2種類を合わせると、**240問中64問**がプール制による出題という結果になりました。実に**約4問に1問がプール問題**ということになります。

さらに、必修と一般・状況設定問題に分けてプール問題を集計すると、驚きの事実が見えてきました。

### □ プール制による出題数 (問題種別)

	①ほぼ同じ	②問われている内容はほぼ同じ	①+②
必修問題	8問 / 50問	22問 / 50問	30問 / 50問
一般・状況設定問題	6問 / 190問	28問 / 190問	34問 / 190問
全240問	14問 / 240問	50問 / 240問	64問 / 240問

なんと「**必修問題の60% (50問中30問)**が**プール制による出題**」でした。このことは、必修問題が「落とすためではなく看護師として必ずおさえておくべき知識を確認する問題」だということを知りやすく示しています。ご存じのとおり、

必修問題の合格基準は80%です。プール問題対策 (過去問対策) がいかに大事か、言い替えば**過去問対策をおろそかにすると確実に落ちてしまう**ことを示す結果といえます。

## 【「①問題文・選択肢を含めて、ほぼ同じ内容」の例】

第99回午前14番

ジグタリスの副作用はどれか。

1. 難聴
2. 悪心
3. 易感染
4. 満月様顔貌

正解: 2



第107回午後21番

ジグタリスの副作用 (有害事象) はどれか。

1. 難聴
2. 悪心
3. 易感染
4. 低血糖

正解: 2

第100回午前6番

日本における平成19年の1歳から4歳までの子どもの死因で最も多いのはどれか。

1. 肺炎
2. 心疾患
3. 悪性新生物
4. 不慮の事故

正解: 4



第107回午前77番

平成26年の人口動態統計において、1～4歳の死因で最も多いのはどれか。

1. 肺炎
2. 心疾患
3. 悪性新生物
4. 不慮の事故
5. 先天奇形、変形及び染色体異常

正解: 4

## 「②問題文や選択肢は異なるが、問われている内容はほぼ同じ内容」の例

第103回午前21番

酸素吸入中に使用を禁止するのはどれか。

1. 携帯電話
2. ライター
3. 電動歯ブラシ
4. 磁気ネックレス

正解：2

第96回午後25番

代謝性アルカローシスになるのはどれか。

1. 嘔吐
2. 下痢
3. 腎不全
4. 飢餓

正解：1

第107回午前23番

充填された酸素ボンベの保管方法で正しいのはどれか。

1. 横に倒して保管する。
2. 保管場所は火気厳禁とする。
3. バルブを開放して保管する。
4. 日当たりの良い場所で保管する。

正解：2

第107回午前12番

頻回の嘔吐で生じやすいのはどれか。

1. 血尿
2. 低体温
3. 体重増加
4. アルカローシス

正解：4

！ どちらも「酸素ボンベの使用・管理時は火気厳禁とする」という知識が問われています。

！ 問題文は大きく異なるものの、「嘔吐によってアルカローシスになる」という同じ知識が問われています。

## 「プール問題はどれくらい出題されている？」のまとめ

① 必修問題は、**60% (50問中30問)** がプール制による出題！

② 一般・状況設定問題は、**18% (190問中34問)** がプール制による出題である

③ 必修問題でよくプール問題が出題される理由は、「必修問題が落とすためではなく、**看護師として必ずおさえておくべき知識を確認する問題**」だからである

④ プール問題対策＝過去問題演習。つまり、**過去問演習をおろそかにすると、国家試験に合格できない**といえる

### ■ 第108回に向けた指導例

【例1】 過去問や、過去問を分析して作られた予想問題を数多く演習させる

⇒ 必修問題の過去問150問、予想問題560問が解ける『QB必修』・・・p.49

【例2】 必修問題の過去問でテストを作成し、学生に出題する

⇒ 思いどおりの小テストを作成できる無料サービス「クエスチョン・バスケット」・・・p.47